



コスモスだより

独立行政法人 地域医療機能推進機構 天草中央総合病院

令和8年1月発行
編集:天草中央総合病院広報委員会

新年のご挨拶

院長 芳賀 克夫

皆様、新年あけましておめでとうございます。さて、今年はうま年です。野生馬が草原を駆け抜けるような清々しい1年になってほしいものです。

馬と言えば、戦国時代の加藤清正公は帝釈栗毛という大きな馬に乗って戦場を戦ってきたそうです。この馬は巨体で暴れるので、江戸の人から「ならず者に喧嘩を打ったとしても、帝釈栗毛には喧嘩を売るな」と言われ、恐れられたそうです。なお、加藤清正の菩提寺には、帝釈栗毛を祀っているお堂があり、その中には馬の木像が置かれているそうです。

加藤清正と言えば、馬刺しも有名です。加藤清正が豊臣秀吉の命令で、朝鮮出兵した時、敵に囲まれ、お城に籠城しました。その後、食料がなくなったそうです。そこで、仕方なく、加藤清正は自分の馬を殺し、その肉を食べたそうです。これが馬刺しの始まりと言われています。この馬がかの帝釈栗毛かどうかは分かりません。いずれにしても清正公は苦渋の決断をしたと思います。

以上、加藤清正公と馬にまつわるお話をしましたが、今年1年が皆様にとりまして華々しい1年となりますようお祈り申し上げます。



独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院
〒863-0033 熊本県天草市東町101番地
TEL 0969-22-0011 FAX 0969-24-2105
ホームページアドレス <http://amakusa.jcho.go.jp>

JCHO天草中央総合病院学術講演会を開催しました

放射線科診療部

診療放射線技師長 荒木 隆文

がん医療における放射線治療の最新動向を紹介する講演会「オリゴ転移の概念と放射線治療の役割」が12月15日(月)当院の附属老人保健施設第3会議室で開催されました。講師として熊本大学大学院生命科学研究部 放射線治療医学講座 教授の大屋夏生先生が登壇し、演題の他に放射線治療を取り巻く医療環境の変化と、大学における診療実績、さらに将来的な需要の見通しについても解説されました。

講演の冒頭では、日本が直面する「2040年問題」に触れ、高齢化の進行によりがん罹患数が今後も増加傾向にあることが示されました。特に高齢患者では、手術や薬物療法の適応が限られる場合が多く、身体的負担の少ない放射線治療の需要は2025年比で約24%増加すると予測されているということでした。

講演の中心テーマである「オリゴ転移」については、遠隔転移が1～5個程度に限られた状態を指し、局所進行がんと多発転移の中間的な病態として説明されました。従来、遠隔転移を有する患者に対する放射線治療は、症状緩和を目的とした照射が主流でしたが、近年ではオリゴ転移に対して定位放射線治療を含む局所治療を積極的に行うことで、生存期間の延長や長期生存が期待できるということでした。

その他、限局照射 (IFRT) による照射範囲の縮小、治療回数を減らす寡分割照射、治療中の変化に応じて計画を修正する適応放射線治療 (ART) など、最近のトレンドについても紹介がありました。

講演の締めくくりとして、放射線治療は今後のがん医療において「量」と「質」の両面で需要が増大する治療法であることが強調されました。当院としても天草地域唯一の放射線治療施設として増大する医療ニーズに応えながら、地域がん医療に貢献できるよう努めていきたいと思っております。



熊本大学大学院生命科学研究部
放射線治療医学講座 教授 大屋夏生先生

第10回JCHO地域医療総合医学会が開催されました



JCHOは全国に57病院ありますが、その病院が一同に会す学会が年に一度開催されます。今年の開催地は、横浜でした。当院からは7題発表をしました。

《参加した職員の感想です》

- 「健診受診後の二次検査受診率向上への取り組み～対面型の受診勧奨を取り入れた効果～」(保健師 岩本 あゆみ)

11月28日・29日の2日間、横浜で開催されたJCHO学会に参加させていただきました。全国のJCHO系列病院が参加する大きな学会で、このような場所で発表させていただいたことは緊張しましたが、とてもいい経験になりました。それと同時に、他院の健康管理センターの収益増や質向上への取り組みを知ることができて、有益な情報交換の場となりました。また、懇親会では院内の他部署との交流も深まり、とても有意義な学会出張となりました。参加させていただきありがとうございました。



- 「人工膝関節全置換術後の2週のTUGに影響を与える因子について」(理学療法士 武田 晃)

横浜で開催された第10回JCHO学会に参加してきました。今回「2週目のTUGに影響を与える因子について」というテーマで発表を行いました。現在3階の整形疾患を多く担当させていただいております。患者様が病棟内で安心して生活できるように今回で学んだことを活かしてリハ介入を進めていきたいと思っています。

- 「移乗用リフト導入への取り組みと課題～リハビリ視点より～」(理学療法士 荒武 優斗)

今回11月28日・29日に横浜で行われたJCHO学会に参加しました。全国の方々の研究発表を聞かせていただき、とても勉強になりました。自身の発表に関しても質疑があり、改善点や課題解決に向かうプロセスを皆さんで共有し、今後の職務に当たる中で工夫や知見を得ることが出来ました。この経験を活かし、患者様利用者様に還元出来る様頑張ろうと思います。



●「ヒドロモルフォン製剤のオピオイドスイッチングについての調査」

(薬剤師 松本 亮二)

今回当院においてがん性疼痛治療の主役を担うヒドロモルフォンについて発表しました。ヒドロモルフォンは他の医療用麻薬製剤とは異なる特徴を持つため、換算比とそのオピオイドスイッチ前後のレスキュー平均使用回数を比較し、換算比の妥当性を評価しました。今後は院内のスイッチングの基準として使用していきたいと思います。また得られた質問から多角的な視点での分析の重要性も認識することができました。

●「副看護師長会議の効率化を目指した検討」

(助産師 友尻 眞樹子)

2月に副師長会議に関する取り組みを整理し、学会発表に向けた準備を開始しました。5月に抄録を提出し、11月の本番までの期間はあっという間でした。副師長の所属フロアーが異なり、意見の取りまとめには苦労しましたが、副師長会議の時間を一部使用しながら、検討を重ね、最終的に無事に発表することができました。私個人としては、新生児科、産科、婦人科以外で内容をまとめて発表するのは初めてであり、大変貴重な学びとなりました。又、発表会場であった横浜の街並みが美しく、活気に満ちた街だった事が心に残っています。



●「急変対応・気管内挿管介助の知識向上への取り組み」

(看護師 杉尾 ともみ)

先日、横浜で開催されたJCHO学会に参加し発表を行いました。発表はとても緊張しましたが、学びの多い貴重な経験となり、他施設の発表や、他国籍の方の発表も興味深く、大変勉強になりました。また、他施設の方々との交流はできませんでしたが、他部署の皆さんとは、楽しく有意義な時間を過ごすことが出来ました。

最後に、今回の発表に際し、お忙しい中看護部長をはじめ、ご指導、ご協力頂いた皆様に心より感謝申し上げます。



●「C病棟における整形外科患者の傾向～現状の把握と今後の課題」

(看護師 藤本 胡桃)

当院の整形外科患者の傾向を集計し、天草市の高齢化率が全国平均を大きく上回っていることが分かりました。特に下肢の骨折により患者様が長期入院になる傾向がみられました。その中で昨年9月より地域包括医療病棟が新設され自宅退院を目標に患者様・ご家族様と話し合い、可能な限りご希望に沿った退院先が決定できるよう日々看護師・他職種を含め今後も関わってまいります。今回の学会で当院で経験できない症例や他病院の活動を聞くことができ今後の職務に活かしていきたいと思います。



懇親会では阿波踊りが披露されました

「女性の健康セミナー～私のからだをもっと好きになる日～」に参加しました

健康管理センター 岩本 あゆみ

10月26日(日曜日)複合施設こらすで開催された天草市主催の『女性の健康セミナー』に参加させていただきました。

主な内容は、当院産婦人科の岩崎聡美先生、はやし薬局の薬剤師 林良樹先生の女性の健康に関する講演があり、その後のヨガ講師の方のヨガがありました。その合間に会場の一角にブースを設け、血圧測定や血管年齢、骨密度の測定を市の保健師さんと協力して行いました。

健康意識の高い40～70代の女性が来られていた為、大変好評で沢山の方が測定に立ち寄られ、ご自身の身体に関する事を相談されて行かれました。

また、図書館にこられた市民の方や勉強に来た高校生も立ち寄ってくださり、多くの市民の方とお話することができました。中には受診をためらっていらっしゃる方もおられ、当院の受診方法や健診のご案内など情報提供を行うことができました。

私達も院内とは違う場所で様々な方の話を聞くことができ大変勉強になりました。今後も機会があれば、またこういう場に参加させていただきたいと思っています。



令和7年度 天草地域感染症患者等移送訓練に参加しました

感染防止対策室 坂本 陽子

令和7年11月6日(木)、当院を含む天草地域の関係機関が参加し、感染症患者等移送訓練が開催されました。毎年関係機関で協力し合いながら準備し行っている訓練です。訓練冒頭では、管轄保健所長より、感染症法に基づく感染症の分類および鳥インフルエンザ(H5N1)に関する最新の知見についてミニ講義が行われ、各機関が基礎知識を共有した上で訓練を開始しました。

今回のシナリオは、昨年度の反省を踏まえ、時間外に患者が病院受診した想定で行いました。野鳥の死骸に素手で接触した20代男性が数日後に呼吸器症状を発症し、A医療センターを受診。問診にて曝露歴が判明し、保健所と連携して検査を実施した結果、H5N1亜型陽性と判明。当院(第二種感染症指定医療機関)へ搬送するという流れで行いました。その後、現場の指示・連携・同線確保を重点に検証しました。

搬送訓練後は、参加者全員で手指衛生確認、防護具の着脱訓練を行い、地域全体の感染対策力向上を図りました。また今年もWeb配信とし、リアルタイムで全行程を共有できる形式としたことで、「昨年よりわかりやすく、把握しやすかった」と感想がありました。

今後も天草圏域の第二種感染症指定医療機関として、感染対策防止に関わっていきます。



今年度の新人職員を紹介します

手術室 吉田 真己

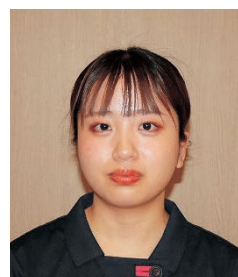
4月から手術室に配属になりました吉田真己です。まだまだ慣れないことばかりですが、プリセプターの方をはじめ先輩方に支えられて日々楽しく勤務しています。

これからも患者様が安心・安全に手術を受けられるよう日々の学習に励み成長していきたいと思ひます。宜しくお願いいたします。



手術室 船元 美月

4月から手術室に配属になりました。船元美月です。プリセプターさんや先輩方のご指導のもと積極的に取り組んでいます。覚えることが多く、緊張や不安はありますが、達成感を得ることができ少しずつ成長することが出来たように感じます。1年後には安心・確実な器械だし看護ができるよう精一杯頑張ります。



手術室 小田 喜一郎

今年から新しく天草中央総合病院に配属となりました、看護師の小田喜一郎です。看護師として、患者に適切な医療が提供できるように、日々努力を行い、自分の力を磨き、医療に貢献していきたいです。



健診センター 田中 麻巴奈

現在、先輩方のご指導のもと業務内容や技術の習得に励んでいます。特殊な機会の操作や業務内容も奥が深く難しいですが、少しずつ出来ることが増えるたびやりがいを感じています。まだ分からないことばかりですがご指導して頂きながら受診者さんが安心して健診をうけられるよう日々成長していきたいと思ひます。



総務企画課 石黒 美羽

4月から総務企画課に配属となりました、石黒美羽と申します。出身は宮崎です。宮崎の短期大学を卒業後、天草中央総合病院に配属となりました。スムーズに意思疎通が図れる事務職員を目指しています。これからよろしくお願い致します。



2026年 外来診療担当表(1月)

受付時間: 午前8時30分～午前11時00分(受付時間は診療科で多少異なります)

診療科		月	火	水	木	金
内 科	呼吸器内科	荘 田 恭 朗	荘 田 恭 朗 中 嶋 誠 也	金 子 篤 志 小 松 太 陽		金 子 篤 志 中 嶋 誠 也
	消化器内科				岩 澤 秀	岩 澤 秀
	腫瘍内科	熊 野 御 堂 慧			熊 野 御 堂 慧	
	血液内科		宮 家 宏 定			大 学
	循環器内科				荒 木 智(大学)	
	代謝内科	浜 田 英 明(大学)				
	緩和ケア			松 本 衣 里		
	二次検査 担当		竹 口 東 一 郎	竹 口 東 一 郎		
	備 考	外来診療は予約制です。				
外 科	診 察	坂 本 慶 太	村 上 聖 一	坂 本 慶 太	(坂 田 優 海)	村 上 聖 一
	乳腺・その他 検査	竹 口 東 一 郎	坂 本 慶 太	村 上 聖 一	稲 尾 瞳 子	坂 田 優 海
	備 考	木曜日の午前は手術です。木曜日は予約の方のみとなります(新患はお受けできません)。				
整形外科		木 山 貴 彦	木 山 貴 彦	畑 直 文(第1・3・5)	木 山 貴 彦	大 森 治 希
		大 森 治 希	大 森 治 希	森 修(第2・4)	松 田 隆 寛	松 田 隆 寛
		松 田 隆 寛				
		脊椎外来		塩 川 晃 章		
		備 考	手術は毎週水曜日です。			
産婦人科		荒 木 眞 佐 子	荒 木 眞 佐 子	荒 木 眞 佐 子	荒 木 眞 佐 子	荒 木 眞 佐 子
		島 田 清 史 郎	岩 崎 聡 美	島 田 清 史 郎	島 田 清 史 郎	岩 崎 聡 美
		寺 尾 瑤 華	島 田 清 史 郎	寺 尾 瑤 華	寺 尾 瑤 華	寺 尾 瑤 華
				片 渕 秀 隆 (第2・4水曜のみ)		
		女性のための ホルモン外来		岩 崎 聡 美		
		備 考	※外来診療は予約優先となっております。 女性のためのホルモン外来(火曜日、14～16時)は完全予約制のため電話予約が必要です。			
放射線科		担 当 医	吉 住 和 弘	森 口 直 哉	森 口 直 哉	担 当 医
		大津家裕二(大学) (放射線治療医)			松山知彦(大学) (放射線治療医)	
皮膚科		松 永 仁 美(大学)			島 田 秀 一(大学)	
歯科口腔外科		田 中 拓 也	田 中 拓 也	田 中 拓 也	田 中 拓 也	田 中 拓 也
		小 田 喬 仁	小 田 喬 仁	小 田 喬 仁	小 田 喬 仁	小 田 喬 仁
		備 考	午後は13:00～16:00の受付時間です。毎週火曜日・木曜日は午前中手術の為、午後からの診療です。			
麻酔科 (ペイン外来)			室 園 美 智 博	大 津 哲 郎		
			竹 下 美 智 代			
		備 考	※外来診療は完全予約制となっております。			

◎学会等により休診となる場合もございますので御承ください。



独立行政法人地域医療機能推進機構
天草中央総合病院
 〒863-0033 熊本県天草市東町101番地

TEL) 0969-22-0011(代 表)
 FAX) 0969-24-1808(連携室)
 0969-24-2108(医事課)